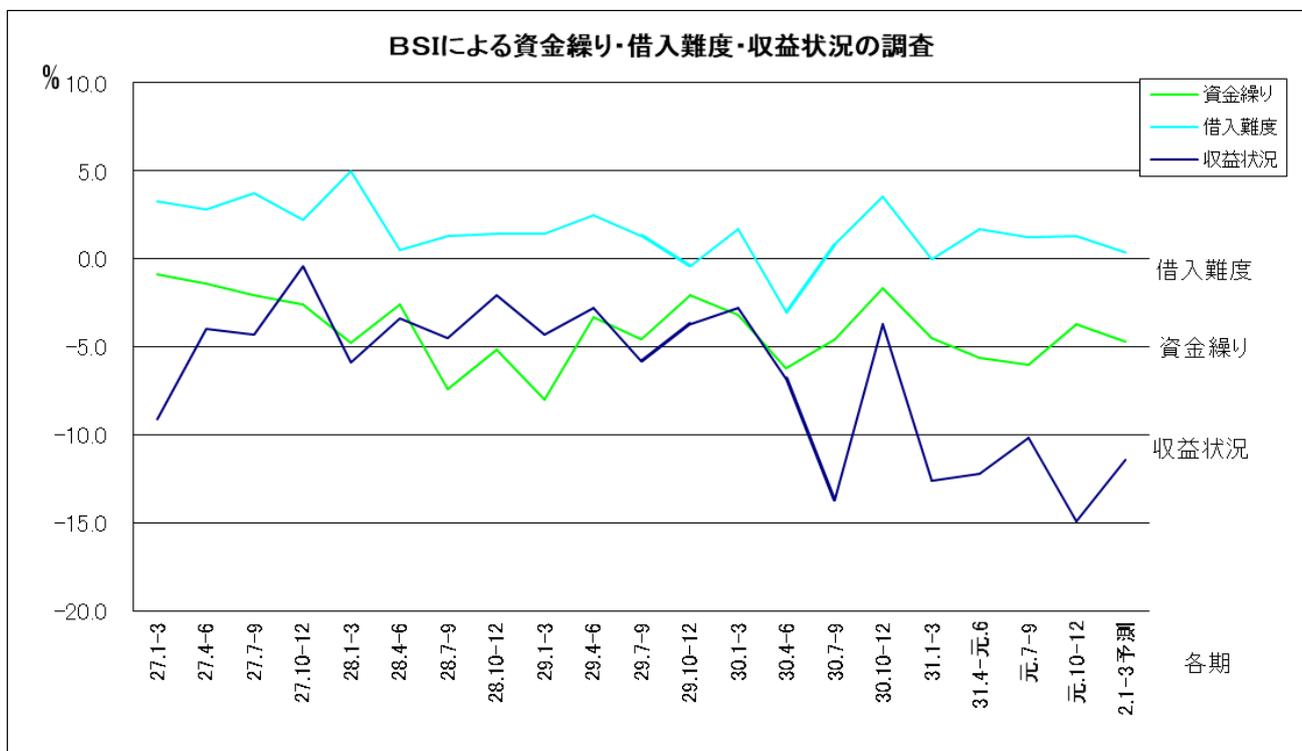
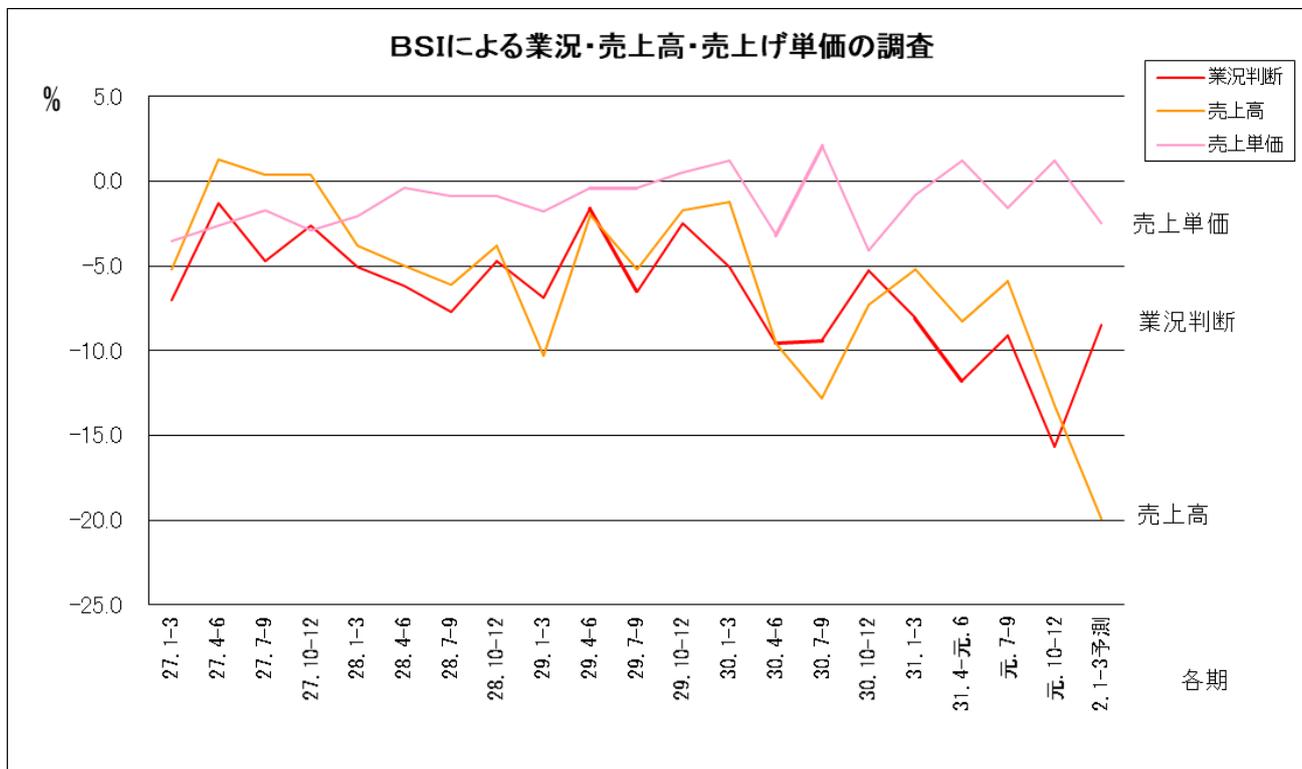


「売上高」が下降。来期も下降が予測され「-19.9%」に。

中小企業景況調査 令和元年10-12月期(令和2年1-3月期予測)
 —鳥取県下4商工会議所の調査より—



*BSI=(上昇・増加-減少・下降)×1/2 (但し、「上昇・増加」+「横ばい」+「減少・下降」=100)

経営者の業況に対するマインドを反映するもの。(0%は「上昇・増加」と「減少・下降」が同数。「+」は上昇・増加、「-」は減少・下降)

■業況(グラフ参照)は……

- ・「業況判断」の6.6 ポイント下降は、「製造業」「サービス業」によるものです。その一方「建設業」は2期連続で上昇しており、来期も上昇予測がされています。全産業の「業況判断」は今期の下降ポイントを上回る7.2ポイント上昇が予測されています。
- ・「売上高」の7.3 ポイント下降は、「建設業」以外の各業種が下降したためです。特に「卸売業」「製造業」「小売業」で大きく下降しました。来期も6.7ポイント下降が予測され、特に「建設業」「製造業」「小売業」では大きな下降が予測されています。
- ・「売上単価」は2.8ポイント上昇しています。これは「小売業」以外の産業が上昇したためです。特に「卸売業」では13.0ポイント上昇しました。来期は全産業で下降が予測され、「卸売業」は10.6ポイント下降が予測されています。
- ・「収益状況」の4.7ポイント下降は、全産業が下降するなか、特に「小売業」の12.5ポイント下降が大きく影響しています。来期は3.5ポイント上昇が予測されていますが、これは「製造業」「小売業」「サービス業」の上昇予測のためです。

■直面している経営上の問題点

- 1位：売上・受注の減少(16.06%)
- 2位：人手不足(13.24%)
- 3位：経費の増加(12.68%)
- 4位：消費・需要の停滞(12.11%)
- 5位：競争激化(9.58%)

■各社からのその他の問題点

- ・設備投資の補助金ばかりで販路開拓の補助金が減少してしまった。平成26年度の鳥取県の労働生産性は全国で最下位であり、県外や海外への販路開拓の施策を講じないといけない。(製造業/鳥取)
- ・消費増税の影響がじわじわ出てくると思われます。(卸売業/鳥取)
- ・畜産農家の事業縮小・廃業により取引先が減少している。(卸売業/鳥取)
- ・業種によって人手不足の問題は大きい。宿泊において底は見えていないが、新規開業が続くと落ち着いた後が心配。(サービス業/鳥取)
- ・「皆生温泉」という名前の持つ力の低下。それに加えホテルを含む宿泊業の数の増加。(サービス業/米子)
- ・前年と比較した経費上昇分は、自社努力したものの好転までには至っていない。目先の現状維持は見込めるものの、今後の経費上昇(特に人件費を含む社会保険料等)を考慮すれば、より厳しい現状は不変。物価上昇の対策、努力をしている企業への負担を増やすことは、国・県・市等各機関でよくよく検討していただきたい。(製造業/米子)